

令和元年度 事業報告書 (第4四半期)

法人本部	1
特別養護老人ホーム笑寿苑	3
養護老人ホーム宇寿荘	6
デイサービスセンター愛あいの家	8
ヘルパーステーションかも	10
加茂デイサービスセンター	12
デイサービスセンターほほえみ	15
かも福祉会居宅介護支援事業所	18
かも社会就労センター	20
かもてらす	24

社会福祉法人かも福祉会

法人本部

1. 理事会、評議員会の開催状況

会 議	開催日	主 な 内 容
理事会	6月6日	平成30年度事業報告、決算、補正予算、評議員会の招集他
	6月21日	理事長の選任、常務理事の選任
	12月12日	補正予算、就業規則の一部改正、給与規程の一部改正他
	3月14日	令和2年度事業計画、予算、補正予算、給与規程の一部改正他
評議員会	6月21日	平成30年度事業報告、決算、補正予算、次期役員の選任
	12月20日	補正予算他
	3月24日	令和2年度事業計画、予算、補正予算

2. 監事監査

4回（5/28・29、8/19、12/5、3/3）

3. 内部監査

4回（5/22、8/8、11/15、2/21）

4. 運営会議（課長以上）

5回（5/22、6/28、8/8、11/15、2/21）

5. 部長会 適宜開催

6. 法人役員研修

・8月7日 講師：小山雲南市健康福祉部長

7. 全体職員研修

5月8日・9日	交通安全について	（雲南警察署）
11月7日	笑いと病気について	（島大医学部付属病院）
1月11日	救急法について	（島大医学部付属病院）
1月24日	感染症について	（松江医療センター）

8. 遊和会事業（互助会）

- ・軽スポーツ大会（ホーリング）6/15、納涼祭 8/7、会食会（夜なべ会）11月～12月
- ・新年会 1/6

9. 社会福祉法人連絡会 幹事会 7/23、10/3

10. その他の実施事業

- ・ふれあい祭り 10月20日
- ・職員採用試験の実施 8月24日、1月25日 登用試験実施 1月17日

11. 広報事業

- ・ホームページ更新 随時

【考察】

- ① 社会福祉法人による地域貢献活動については、「雲南市社会福祉法人連絡会」で今年度は雲南市・雲南警察署と連携を図り、「うんなん福祉・安全サポーター」としてステッカーの作成、設置（各法人全車両に設置）、ドライブレコーダーの設置（福祉会の半数 15 台に設置）し防犯・交通安全活動及びこども見守り活動に取り組んだ。

- ② 宇寿荘の施設整備（建替え）については、8月に市健康福祉部長を講師に役員研修を行い、市の考え方等を聞き、意見交換をし、今後に向けて引き続き協議を重ねていくことを確認した。

特別養護老人ホーム 笑寿苑

(入所定員：長期 50 名、短期 10 名、地域密着型 20 名)

1. 入居者等の状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

出身地		小計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
雲南市	加茂町	33		1	6	14	12
	大東町	29		1	9	5	14
	木次町	3				2	1
	三刀屋町	1			1		
	掛合町						
	吉田町						
出雲市		1				1	
松江市		1				1	
合 計		68		2	16	23	27

2. 入居者の年齢構成（令和 2 年 3 月 31 日現在）

年齢構成	人数
100 歳以上	2 名
90 歳～99 歳	24 名
80 歳～89 歳	32 名
70 歳～79 歳	8 名
60 歳～69 歳	2 名

最高齢 102 歳、 平均年齢 87.5 歳【前年度 87.4 歳】、平均介護度 4.1【前年度 4.1】

3. 年度中の入居者移動状況

入苑者数	27 名【前年度 30 名】
退苑者数	27 名【前年度 27 名】

4. 短期入所利用者数

月	利用者数	利用延べ日数	稼働率
4 月	36 人	275 日	91.7%
5 月	38 人	256 日	82.6%
6 月	35 人	264 日	88.0%
7 月	37 人	270 日	87.1%
8 月	37 人	290 日	93.5%
9 月	32 人	283 日	94.3%

10月	33人	245日	79.0%
11月	35人	267日	89.0%
12月	39人	284日	91.6%
1月	36人	267日	86.1%
2月	33人	251日	86.6%
3月	33人	252日	81.3%

平均稼働率 87.5%【前年度 90.2%】

5. 職員配置数

職 種	合計	正規職員		臨時・嘱託
		専従	兼務	
施設長	1		1	
事務職員	4	1	3	
介護支援専門員	1		1	
生活相談員	1		1	
看護職員	6		3	3
機能訓練指導員	1		1	
介護職員	41	35		6
管理栄養士	1		1	
介助員	2			2
夜間警備員	3			3
合 計	61	36	11	14

6. 事業収入

①笑寿苑（単位：千円） 前年対比：100.1% 計画対比：99.4%

年度	介護報酬	利用者負担金	居住費補足給付	居住費利用者負担	食費補足給付	食費利用者負担	合 計
30年度	204,478	22,245	12,197	16,236	18,159	14,326	287,641
計画	205,287	22,801	12,456	16,180	18,686	14,340	289,750
元年度	203,417	22,910	11,419	17,333	16,884	16,064	288,027

②短期入所（単位：千円） 前年対比：99.2% 計画対比：96.7%

年度	介護報酬	利用者負担金	滞在費補足給付	滞在費利用者負担	食費補足給付	食費利用者負担	合 計
30年度	25,050	2,804	541	3,280	507	3,351	35,533
計画	25,718	2,857	494	3,399	428	3,537	36,433
元年度	24,797	2,785	395	3,380	420	3,455	35,232

7. 行事・事業の実施状況

月	行事・事業
4月	レントゲン検診、花見ドライブ、かも福祉会新人研修
5月	家族会総会（清掃奉仕作業）
6月	笹巻き作り
7月	避難訓練、夏祭り、民生児童委員奉仕作業
8月	七夕会、家族会役員会、加茂町ライオンズクラブ奉仕作業
9月	敬老祝賀会
10月	かも福祉会ふれあい祭り、民生児童委員奉仕作業
11月	運動会、退公連女性部古布切りボランティア
12月	忘年会、クリスマス会
1月	新年会
2月	節分祭
3月	ひな祭り会、避難訓練

※ちょっこし外出～随時

※笑笑（にこにこ）便り 年4回発行

8. 各種研修会及び会議への出席状況

- ・高齢者虐待防止研修、管理栄養士研修
- ・職場の受動喫煙防止対策説明会、メンタルヘルス研修会
- ・運営推進会議 隔月
- ・職員会議、主任者会議 毎月 ・各種委員会 随時

【考察】

1. 収入について

- ・事業収入については計画に対して及ばなかった。全体では 326,183 千円の計画に対し、323,259 千円であった。（前年対比 100.0% 計画対比 99.1%）
- ・ご利用者の重度化により入退院を繰り返したり、入院期間も長期間を要する方が増えていることが要因として挙げられる。今後も多職種協働で、細やかな健康観察を行いながら安心安全なサービスを提供し、経営の安定につなげたい。

2. 施設サービスについて

- ・隔月で運営推進会議を開催し、当苑が提供しているケアを公開し、“地域に開かれた施設”を目指すと同時にサービスの質の向上につなげることができた。

3. 感染症について

- ・今年も全国的にインフルエンザが猛威を振るうなか職員が数名罹患してしまったが、手洗い、手指消毒、マスクの着用等を徹底することで、ご利用者への感染拡大は防ぐことが出来た。

養護老人ホーム 宇寿荘

(入所定員：80名)

1. 入所等の状況 (令和2年3月末)

出身地	小計	非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
雲南市	74	21	10	17	6	11	8	1
奥出雲町	1		1					
出雲市	3	3						
合計	78	24	11	17	6	11	8	1

2. 入居者の年齢構成 (令和2年3月末)

年齢構成	人数
90歳～99歳	29名
80歳～89歳	26名
70歳～79歳	17名
60歳～69歳	6名

最高齢 99歳、 平均年齢 85.1歳

3. 入所者等の実績 (令和2年3月末)

	入所者数	退所者数	平均入所数	稼働率
30年度	8人	11人	76.1人	95.1%
元年度	17人	13人	75.8人	94.8%

4. 事業収入 (単位：千円) 前年対比：95.7% 計画対比：100.9%

	老人福祉事業	介護保険事業	合計
30年度	142,856	86,781	229,637
計画	143,990	73,840	217,830
元年度	139,244	80,527	219,771

5. 外部サービス提供回数 (延べ) 月平均利用者数 44.3名 (前年度 46.4) 平均介護度 1.9

	30年度	元年度	前年対比
基本サービス	20,520	19,337	94.2%
訪問介護	39,828	38,993	97.9%
通所介護	388	261	67.3%
認知症通所	2,541	2,208	86.9%
福祉用具	269	314	116.7%

6. 職員配置数（令和2年3月末）

職 種	員 数	正規職員		臨時職員	パート職員
		専従	兼務		
施設長	1		1		
生活相談員	4		3		1
事務職	2			1	1
看護職員	3	2			1
機能訓練指導員	1	1			
支援員	15	1	6	6	2
介助員	2				2
管理栄養士	1		1		
夜間支援員	3				3
合 計	32	4	11	7	10

7. 行事・事業の実施状況

4月	花見	10月	交通安全指導、遠足
5月	交通安全指導、遠足	11月	地域交流運動会、収穫祭、避難訓練
6月	創立記念日、家族会、健康診断	12月	クリスマス会、歳末法要、忘年会
7月	避難訓練、納涼祭	1月	新年祝賀会
8月	盆法要、七夕祭り	2月	節分、健康診断
9月	敬老祝賀会、彼岸法要	3月	

8. 各種研修会及び会議への出席状況

- ・認知症介護実践者研修、基礎研修
- ・福祉サービス苦情解決研修会
- ・養護老人ホーム部会研修会 他
- ・職員会議、主任者会議 毎月 ・各種委員会 随時

【考察】

① 事業収入について

- ・全体の事業収入は、前年対比 95.7% 計画対比 100.9%であった。
- ・措置費収入は、前年対比 96.7%、計画対比 97.5%であった。利用者の重度化により居室調整が困難となっている。また、重度化による長期入院者の増加（前年比 127%）が低下の主な要因である。
- ・介護保険収入は、前年対比 92.8%、計画対比 109.1%であった。入所率の低下に伴う利用者数の低下が前年度を下回った主な要因である。

② 健康管理と生きがい活動について

- ・楽しみ生きがい教室として生け花教室、書道教室、カラオケなどを定期開催した。
- ・口腔ケアの研修会を開催し、口腔衛生の意識啓発と健康管理に取り組んだ。
- ・年間を通じ吐物処理の演習や感染症予防研修などを実施した。また年度末より新型コロナウイルス感染症対策として、面会制限や職員・利用者の手洗い・マスク着用などを徹底している。

③ 人材育成の強化について

- ・研修委員を中心に研修テーマを検討し、内部研修を月1回定期開催した。

デイサービスセンター愛あいの家

(定員：12名)

1. 利用状況

	開設日数	延べ利用回数	1月平均利用	1日平均利用	1月利用者数
30年度	256日	2,541回	211.8人	9.9人	24.4人
元年度	254日	2,208回	184.0人	8.7人	21.8人

2. 介護度別延べ利用回数

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
30年度	166	1,089	797	167	286	36	1.8
元年度	144	1,242	224	476	122	0	1.7

3. 事業収入 (単位：千円) 前年対比：88.2% 計画対比：92.4%

	受託収入	その他	合計
30年度	23,058	0	23,058
計画	22,011	0	22,011
元年度	20,331	0	20,331

4. 職員配置状況 (令和2年3月末)

職 種	員 数	正規職員		臨時職員	
		専従	兼務	専従	兼務
管理者	1		1		
生活相談員	1				1
介護職員	2			2	
機能訓練指導員 (看護師)	1				1
合計	5		1	2	2

5. 事業の実施報告

4月	花見ドライブ、おやつ作り	10月	調理レク (おやつ作り)
5月	園芸週刊	11月	秋の運動会・紅葉ドライブ
6月	端午の節句 (笹巻団子作り)	12月	忘年会・鍋会食・クリスマス会
7月	行事食 (団子汁作り)	1月	新年お茶会
8月	七夕祭り会	2月	節分
9月	敬老会 (宇寿荘合同)	3月	ひな祭り

6. 各種会議及び研修会への出席状況

各種会議

- ① 運営会議（随時） ② 運営推進会議（1回） ③ 通所介護部会・総会（2回）
- ④ サービス担当者会議（随時） ⑤ 職員会議（毎月）

各種研修会

- ① 人権セミナー（1回） ② 認知症ケア研修会（2回） ③ 通所介護部会研修会（2回）
- ④ 職場内研修（3回） ⑤ 宇寿荘合同研修（10回）

【考察】

① 利用者の確保と安定的な運営について

- ・ 事業収入は前年対比 88.2% 計画対比 92.4%であった。宇寿荘の入所率の低下に伴う利用者数の低下が前年度を下回った主な要因である。

② 職員の資質向上について

- ・ 宇寿荘と合同の内部研修会に参加した。また雲南地区通所部会の研修会などに参加し質の向上に努めた。
- ・ ミーティング等で業務見直し、接遇面などサービス向上に努めた。
- ・ 関係機関の職場体験実習の受け入れを行った。

③ 地域との連携強化について

- ・ 運営推進会議を9月に開催し、行政、地域住民、家族の方と意見交換を行った。第2回目の開催は新型コロナウイルス拡散防止のため文書によって報告・意見聴取を行った。
- ・ 宇寿荘と合同の地域交流会に参加し地域交流を図った。

④ 感染症予防について

- ・ 感染症予防研修への参加、吐物処理の演習、手洗い・うがいの励行・マスク着用・消毒の徹底などで感染予防に努めた。

ヘルパーステーションかも

① 介護度別利用者数（累計） 前年対比：107.6 %

【介護保険】

年 度	事 業 対 象 者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平 均 介 護 度
30 年度	24	21	12	61	47	38	17	17	237	1.9
元年度	27	46	33	55	37	18	14	25	255	1.7

② 利用状況

【介護保険】 訪問回数前年対比：75.8 % 開設日数 366 日

年 度	延べ利用人数	延べ訪問回数	1 月平均訪問回数	1 日平均訪問回数
30 年度	237 人	4,154 回	346.2 回	11.4 回
元年度	255 人	3,150 回	262.5 回	8.6 回

【障害者総合支援ヘルプ】 訪問回数前年対比：106.6 % 開設日数 366 日

年 度	延べ利用人数	延べ訪問回数	1 月平均訪問回数	1 日平均訪問回数
30 年度	160 人	1,476 回	123.0 回	4.0 回
元年度	172 人	1,574 回	131.2 回	4.3 回

③ 事業収入（単位：千円） 前年対比：96.5 % 計画対比：129.3 %

年 度	介護報酬収入	負担金収入	自立支援給付費	外部受託収入	合 計
30 年度	10,913	1,665	8,666	7,589	28,833
計 画	8,207	909	6,862	5,540	21,518
元年度	8,789	998	9,066	8,966	27,819

④ 職員配置状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

管理者（サ責兼務）	サービス提供責任者 （訪問介護員兼務）	登録ヘルパー（パート）
1 名	3 名	10 名（常勤換算 3 名）

5. 会議の出席状況

ヘルパーミーティング、雲南地域訪問部会・自立支援部会（毎月） 各種委員会（随時）

6. 研修会の出席状況

雲南地域訪問介護部会研修（5 回） 職場内研修（3 回） 職場外研修（3 回）

【考察】

① 介護保険事業について

入院、入所、ショートステイや終末期の利用者があり利用の変動が多かった。利用者数については増加しているが軽度者数が多い為訪問回数の減少で事業収入は落ち込んだ。

② 自立支援事業について

利用者の長期入院もあったが新規利用者もあり事業収入は増加した。

③ 外部サービスについて

宇寿荘と連携を図り積極的に訪問した結果、外部受託収入は前年対比 118%の増収となった。

④ 利用者アンケートについて

利用者、家族共に「ヘルパーを利用して良かった、今後もぜひ利用したい」という結果だった。今後も更に利用満足度が高まるよう努力したい。

⑤ 広報誌による情報提供について

アンケート結果等を広報誌（年 1 回）に掲載し情報提供を行った。

⑥ 登録ヘルパーの確保について

登録ヘルパーの高齢化もあり、今後も人材確保に努めていきたい。

⑦ 資質向上について

研修会に積極的に参加し資質向上に努めた。

⑧ 実習生の受け入れについて

実習生の受け入れを行い介護人材の育成に協力した。

⑨ 適切なケアの実施について

「自己評価」により振り返りを行ってケアの質を高め、また、ヘルパーミーティングで情報共有を図り利用者の状態に適したケアの実施に努めた。

⑩ 感染症について

新型コロナウイルスの感染症予防には検温、マスク、手洗い、嗽、手指消毒等充分気を付け、利用者にも協力を得ながら訪問している。

⑪ 今後の課題について

介護保険の利用者は、施設介護の志向が高く、今後は在宅サービス利用者の減少が見込まれる。また、ショートステイを利用される方が増えたり、終末期になってからの短期間利用が多くなっている状況である。更に関係機関との連携を図り利用者の確保に努めたい。また、対応の難しい障がい者の利用数は伸びているが、ヘルパーによっては受け入れ拒否もあるため人材確保と資質向上で選ばれる事業所を目指したい。

加茂デイサービスセンター

(定員：35名)

1. 介護度別利用者数 (累計) 前年対比：93%

年 度	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
30年度	34	109	193	226	334	113	79	4	1,092	1.6
元年度	12	115	190	202	325	111	56	5	1,016	1.5

2. 利用状況 利用回数 前年対比：100.4%

年 度	開設日数	延べ利用回数	1月平均利用	1日平均利用	1人平均利用
30年度	308日	8,664回	722.0回	28.1人	7.9回
元年度	308日	8,705回	725.4回	28.2人	8.5回

3. 事業収入 (単位：千円) 前年対比：101% 計画対比：112.2%

年 度	報酬収入	負担金収入	食費等利用料収入	外部受託収入	合 計
30年度	61,942	6,966	5,585	4,020	78,513
計 画	57,125	6,397	5,237	2,000	70,759
元年度	63,544	7,204	5,695	2,903	79,346

4. 職員配置状況 (令和元年12月31日現在)

課 長 ※1	係 長 (看護・機能訓練・ 口腔兼務)	主 任 (生活相談員・ 口腔・介護職員兼務)	生活相談員 (介護職員兼務)	看護職員 (嘱託・パート)	作業療法士
1名	1名	1名	1名	2名 (常勤換算数1.2人)	1名

介護職員 ※2	送迎運転手
11名 (常勤換算数8.1人)	3名 (パート)

※1：管理者・生活相談員兼務

※2：介護職員(専従=4名、臨時職員=2名、パート=4名 (常勤換算1.1人) 障害者雇用=1名)

5. 事業の実施状況

(1) 月別行事

月	事業名	月	事業名
4月	花見ドライブ	10月	外出(フォーゲルパーク・安来節演芸館)
5月	外出(大社)・ドライブ	11月	外食・ドライブ
6月	外出(安来節演芸館)・笹巻作り	12月	忘年会・鍋会
7月	外出(安来節演芸館)・外食	1月	初詣・初釜
8月	ショッピング・外食	2月	節分
9月	外出(花の郷) 敬老会・外食	3月	ドライブ

(2) 年間事業

事業名	回数	事業名	回数
広報誌	年4回発行	アンケートの実施	1回
家族会	1回(12月)	職員個人面談	2回
介護者の集い	12回	実習生受入れ(トリニティカレッジ他)	4名
職場体験学習(中学生)	2名		

(3) 地域交流事業

事業名	回数	事業名	回数
チャレンジスクール	1回	児童クラブ	3回
二十三夜祭り作品展示	1回	大東高校ボランティア受け入れ	6名

(4) 会議の出席状況

会議名	回数	会議名	回数
通所介護部会	1回	職員会、各委員会	12回
雲南市ケア会議	1回		

(5) 研修会出席状況

研修会名	出席者数	研修会名	出席者数
通所介護部会研修(雲南・県)	6名	老施協県大会	1名
外部研修(人材育成)	9名		

【考察】

① 事業収入について

- ・ 前年度の冬季に重度の方が亡くなられたことや認知症加算が算定できなかったことから予算を低く見積もっていた。第一四半期は利用者数が少ないスタートとなったがその後、新規の利用者は増加した。重度の方が少ないためか入院者や老健入所された方が少なく利用者数は安定していた。
- ・ 常勤の職員は減り、パート職員の採用により、人件費は前年度より抑えられている。

② リスク管理について

- ・ 利用時にご自分で歩ける方が転倒し骨折される事故があった。歩行時の転倒のリスクは高く、情報を共有し事故防止に努めたい。

- ・ 感染症予防につとめておりインフルエンザは蔓延することはなかった。特に、新型コロナウイルス感染症には気をつけており、感染予防の徹底に努めている。
- ③ 職員の資質向上について
- ・ 外部研修後に伝達研修や勉強会を実施し資質向上に努めた。また、職員会を利用し、各種マニュアルの把握をおこなった。

デイサービスセンターほほえみ

(定員：12名)

1. 介護度別利用者数 (累計) 前年対比：87.5%

年 度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
30年度	0	0	101	47	66	14	37	265	2.4
元年度	0	0	82	43	38	41	28	232	2.5

2. 利用状況 利用回数 前年対比：80.0%

年 度	開設日数	延べ利用者数	1月平均利用数	1日平均利用者数
30年度	308日	2,625人	218.8人	8.5人
元年度	308日	2,102人	175.1人	6.8人

3. 事業収入 (単位：千円) 前年対比：79.8% 計画対比：82.7%

年 度	報酬収入	負担金収入	食費等利用料収入	合 計
30年度	31,949	3,575	1,479	37,003
計 画	30,928	3,394	1,403	35,725
元年度	25,417	2,962	1,158	29,537

4. 職員配置状況 (平成2年3月31日現在)

課長 (※1)	生活相談員	看護職員	介護職員 (※2)	送迎運転手
1名	2名 (介護兼務)	1名	2.8名	3名 (パート)

(※1) 管理者・看護職員・生活相談員兼務

(※2) 1名専従・2名臨時・パート常勤換算0.5名

5. 事業の実施状況

(1) 月別行事

月	事業名	月	事業名
4月	花見ドライブ (桜) 作品作り	10月	カレー作り・福祉まつり作品作り 花植え
5月	花見ドライブ (つつじ)・チャレン ジダー参加・ミニ運動会	11月	ドライブ・蒸しパン作り・家族会
6月	笹巻作り・花見ドライブ 花植え	12月	クリスマス会・忘年会 (踊り・ 鍋会)
7月	カレー作り・避難訓練	1月	初釜・蒸しパン作り

8月	七夕飾り	2月	ちらし寿司作り・花見ドライブ
9月	敬老会（演芸）・創作活動	3月	ドライブ・おやつ作り（お好み焼き）

(2) 年間事業

事業名	回数	事業名	回数
広報誌	年3回発行	アンケートの実施	1回
家族会	1回（11月）	職員個人面談	1回
介護者の集い	12回		

(3) 地域交流事業

事業名	回数	事業名	回数
児童クラブ		チャレンジデー参加	1回
保育園児交流	1回	中学生職場体験	2名
		チャレンジスクール	

(4) 会議の出席状況

会議名	回数	会議名	回数
サービス担当者会議	随時	職員会議	12回
通所介護部会総会	1回	居宅管理者会議	12回
雲南市ケア会議		集団指導	
運営会議	4回	ケース検討会	随時
運営推進会議	2回		

(5) 研修会の出席状況

会議名	回数	会議名	回数
通所介護部会研修会	1回（2名）	デイサービス部会研修会	
県老協研修大会	1回（1名）		
職員全体研修	3回		

【考察】

① 事業収入について

前年対比 79.8%、計画対比 82.7%と共に下回っている。平均介護度を見ると重度の方の利用は多くあったが一日の平均利用者数が6.8人とかなり少なかった。

要因としては入院や死亡で利用者が少なくなったことと新規利用があっても継続利用に繋がらなかったことが考えられる。

8月には台風の影響で一日営業を休止している。

今後も空き情報を発信して新規確保に努めたい。

② 資質向上、実習生の受け入れ研修会の参加は少なかったが毎月接遇目標を掲げサービスの

向上に努めた。

中学生の職場体験の受け入れは行うことが出来た。

③ 地域交流について

保育園児との交流は皆さんとても喜ばれた。

小学生との交流はインフルエンザ感染予防のため今年度は交流が出来なかった。

④ 地域や家族との連携

運営推進会議を開催し地域住民や行政と意見交換を行なったが3月は新型コロナ感染症予防の為報告のみ行った。

⑤ 感染症について

新型コロナウイルス感染症予防の為マスク、手洗い、嗽、換気の徹底と利用者、職員共毎朝体温測定を行ない体調管理に努めている。

かも福祉会居宅介護支援事業所

1. ケアプラン作成数 前年対比：94.5%

年度	ケアプラン作成数(介護)	ケアプラン作成数(予防)	合計	月平均ケアプラン作成数	ケアマネ1人当たり作成数
30年度	1,495	420	1,915	159.6	31.9
元年度	1,485	325	1,810	150.8	37.7

2. 介護度別ケアプラン作成数

年度	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
30年度	9	112	299	489	583	254	102	67	1,915	1.83
元年度	0	98	227	498	535	284	112	56	1,810	1.88

3. 事業収入(単位：千円) 前年対比：97.5% 計画対比：103.2%

年度	居宅介護支援介護料収入	包括支援C受託収入	訪問調査受託収入(※)	合計
30年度	23,677	1,848	305(101件)	25,830
計画	22,560	1,584	269(96件)	24,413
元年度	23,500	1,432	265(87件)	25,197

※の()内は訪問調査件数

4. 職員配置状況(令和2年3月31日現在)

係長(管理者)・主任介護支援専門員	介護支援専門員
1名	3名

5. 会議・研修会

会議・研修会名	回数	会議・研修会名	回数
ミーティング	毎週	県・雲南ケアマネ協会・部会研修会	9回
福祉会全体研修	4回	地域ケア会議(包括支援C開催含)	10回
介護支援専門員(更新)関係研修	1回	事例検討会	2回
苦情・虐待・権利擁護研修会	3回	各連絡会・連携会議	6回

【考察】

- ① 介護のケアプラン作成数は、5月のみ120件を切ったが、1年を通して120件を越す月が多く作成することができた。予防のケアプラン作成数は、前年度より少ない件数であり平均27件であった。職員一名減ではあったが、要介護のプラン作成を大幅減らすことなく維

持できた。

- ② 介護度別では、要介護1の件数が増加している。また、重度化の進行と有料老人ホームへ入所される方は、引き続き担当となるため、要介護3・4の方も増えている。介護負担や共働き世帯の増加に伴い施設入所を希望される方もおられる。
- ③ 事業収入では、介護のケアプラン作成数は減ったが、要介護3～5の件数が昨年より増加したため、収入の合計では昨年と比べ微減にとどまった。訪問調査受託収入は要介護認定有効期間が2～3年と伸びたことにより、年間調査件数が減ったため、調査件数の収入も減っている。

かも社会就労センター

(利用定員 30 名)

1. 利用者数：34 名（男性 19 名・女性 15 名）（令和 2 年 3 月 31 日現在）
 身体障害：5.5 名 知的障害：15.5 名 精神障害：12 名 難病：1 名

2. 利用状況（平均年齢：49.4 歳・最高齢：76 歳・最年少：19 歳）前年対比：88.2%

年度	開所日数	延べ利用者数	1 月延べ利用者数	1 日当たり利用数
30 年度	308 日	7,393 人	616.1 人	24.0 人
元年度	308 日	6,523 人	543.6 人	21.2 人

3. 受託加工取引業者と作業内容

株式会社 山光：自動車部品の加工	笑寿苑：洗濯・掃除
ナカバヤシ株式会社：ファイルの加工	信書便事業（H25.3～）
協栄ファスナー：自動車部品の加工	JA：葬儀準備片づけ（H26.4～）
(株) ソノ：中心貼、タル・おしぼり袋詰め	ヒカリ電子：箱詰め作業
小早川製粉：蕎麦の実袋詰め作業（不定期）	シンメイ：食品カップ等袋詰め（H28.5～）
テクノマーチ：お菓子袋詰（H29.10～）	宇寿荘：洗濯（H29.10～）

4. 就労支援事業収入 加工賃売上高（単位：千円） 前年対比：109.2% 計画対比：115.7%

年 度	受託加工事業	清掃活動事業	葬儀準備事業	信書便事業	合 計
30 年度	5,503	2,217	399	2,491	10,612
計 画	4,771	2,208	550	2,490	10,019
元年度	6,213	2,217	490	2,666	11,587

5. 事業収入（単位：千円） 前年対比：89.4% 計画対比：121.0%

年 度	訓練等給付費	利用者負担金	計画相談支援（※ 1)	合 計
30 年度	50,417	293	3,624	54,349
計 画	37,230	223	2,750	40,203
元年度	44,671	148	3,769	48,589

(※1) は、計画相談支援給付費収入＋委託収入

6. 行事・事業の実施状況

4 月	花見散策	10 月	一日研修旅行(大山)・職場実習・実習生受入 3 名(ホムケア)
5 月	チャレンジデー	11 月	避難訓練・職場実習・実習生受入 2 名(トリニテイ)
6 月	笹巻き・避難訓練・研修旅行(フォーグ)	12 月	忘年会・実習生受入(養護学校) 1 名茶

	ルパーク)・交通安全教室	月	話会
7月		1月	新年会
8月	七夕茶話会	2月	職場実習
9月	茶話会・実習生受入1名(山陰中央大学校)	3月	土砂災害避難訓練・健康診断(永瀬医院)

7. 会議の出席状況

会議名	回数	会議名	回数
相談支援事業所連絡会	1回	就労支援専門部会	2回
雲南圏域総合支援協議会総会	1回	障がい者就業生活支援センター連絡会議	2回
令和元年度精神障がい者地域生活移行・定着支援会議	1回	雲南圏域障がい者総合支援協議会雲南市地域部会定例会	1回
雲南市相談支援連絡会	12回	相談支援事業所と市町村連絡会議	1回
雲南圏域相談支援部会	2回	職員会議・ケース検討会	12回

8. 研修会の出席状況

研修会名	人数	研修会名	人数
強度行動障害支援者養成研修	1名	令和元年度権利擁護研修	1名
罪を犯した人に携わる福祉関係者研修	1名	就労学習会	1名
福祉サービス苦情解決研修会	1名	令和元年度引きこもり支援研修会	1名
雲南地域就労支援ネットワーク強化事業・充実事業視察研修	1名		
避難行動従事者研修	1名	成年後見研修	1名
サービス管理責任者現任研修	1名	雲南圏域総合支援協議会相談支援部会研修	1名
高次脳機能障がい者支援研修	1名	島根県相談支援従事者スキルアップ研修	1名
障害区分認定調査員研修	1名		

9. 職員配置状況 (令和2年3月31日現在)

管理者	係長 (相談支援専門員)	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員
1名	1名	6名 (内3名臨時)	2名	1名 (臨時)

10. つつじホール事業（月別利用回数）

	ミーティングルーム		研修室		葬 儀 (研修室利用回数の内数)	
	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度
4月	10	15	6	9	6	9
5月	13	16	8	7	8	7
6月	11	13	6	6	6	6
7月	10	9	4	2	4	2
8月	12	14	9	8	9	8
9月	12	15	9	4	8	4
10月	8	12	4	6	4	6
11月	12	14	6	7	6	7
12月	9	12	7	7	7	7
1月	15	17	12	7	12	7
2月	3	11	1	3	1	3
3月	10	17	4	5	4	5
合計	125	165	76	71	75	71

11. 利用料収入 計画対比：107.0% 前年対比 99.8% (単位：千円)

30年度	3,785
計 画	3,530
元年度	3,778

【考察】

① 事業収入について

利用者数は34名(前年比△3名。内訳は、退職2・移動1・療養1・新規1)。

就労支援事業収入は順調な受注と内容も変更した効果もあり対前年比109.2%、計画対比115.7%となった。

事業収入は利用者が減った影響で、対前年比は89.4%となったが、計画対比では121.0%となった。

相談支援事業は、精神障害支援体制加算(H31.2～)、行動障害支援体制加算(R1.11～)の対象となり、また、計画相談のモニタリングが6か月に1度から3か月に1度になり回数が増えたことなどから増となった。

② 利用者対応について

利用者の就労意欲増進のため季節毎に行事を企画した。特に春と秋の研修旅行は楽しみにされている。

各学校、団体から年間7名、延23日間実習生を受け入れ、障がいがある方と交流する

ことで理解を深めていただいた。養護学校の重度の生徒を受け入れた時には随時見守りを要した。

一般就労に向けて2名、市内2企業において職場実習を行った。普段見落としがちな個性を発見することができた。また、障がい者就労振興センターの援助で信書便の動画を作成し利用者の就業意欲が向上した。

③ 感染症対策について

毎日、朝礼時に、嗽、手洗い、マスク着用の注意喚起を行い、また、出勤時には体温測定を行う等感染予防に努めた。インフルエンザの流行はなかった。

④ 職員の資質向上について

施設内外の研修に積極的に参加し、資質の向上に努めた。

⑤ つつじホール事業について

葬儀の回数は前年より4件減り、ミーティングルームは、定期利用者の利用回数が増えたため40件の増となった。

3月以降は、新型コロナウイルス感染症の予防対策でキャンセルがあり、次年度への影響を懸念している。

駐車場が未舗装であり雨天時の状態が悪く度々補修を要した。

事業収入集計（単位：千円）

（進捗率 100%）

事業所名	前年度	計 画	実 績	前年対比	計画対比
笑寿苑長期	287,641	289,750	288,027	100.1%	99.4%
笑寿苑短期	35,533	36,433	35,232	99.2%	96.7%
宇寿荘	229,637	217,830	219,771	95.7%	100.9%
愛あい	23,058	22,011	20,331	88.2%	92.4%
ヘルプ	28,833	21,518	27,819	96.5%	129.3%
加茂デイ	78,513	70,759	79,346	101.1%	112.1%
ほほえみ	37,003	35,725	29,537	79.8%	82.7%
居宅介護支援	25,830	24,413	25,197	97.5%	103.2%
就労センター	54,349	40,203	48,589	89.4%	121.0%
つつじホール	3,785	3,530	3,778	99.8%	107.0%
合 計	804,182	762,172	777,627	96.7%	102.0%

加茂健康福祉センター かもてらす

1. 入館者数 前年対比：96.5%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30	2,231	2,763	2,802	2,900	2,784	2,569	3,381	2,474	2,377	2,063	2,137	2,568	31,049
R1	2,736	2,443	2,276	3,343	2,524	2,617	3,332	2,362	2,195	1,946	2,272	1,904	29,950

【考察】

入館者数の年間合計は、前年度より1,099人減少し、前年対比で96.5%となった。7月は参議院議員選挙で増加した。3月は約660人減少しているが、これは「新型コロナウイルス感染症」の流行により、予約のキャンセルなどによる利用者の減少によるものである。

2. 入浴者数 前年対比：100.4%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30	1,273	1,395	1,333	1,588	1,575	1,338	1,296	1,275	1,389	1,350	1,314	1,542	16,668
R1	1,457	1,472	1,298	1,499	1,478	1,376	1,357	1,332	1,337	1,251	1,405	1,467	16,729

【考察】

入浴者数は、前年度より61人増加し、前年対比で100.4%とほぼ横ばいの状況となった。年間を通じて修繕工事等利用者数の減少に影響する要因もなく、又「新型コロナウイルス感染症」の影響も懸念されたが、入浴者数には影響は少なかったものと推測され、前年度並みに推移した。新規の利用者は限られており固定客の利用が入浴者数に影響を与えている。